



日本災害情報学会 第9回学会大会プログラム — 島原復興アリーナ —

(2007. 11. HP版)

11月16日(金)	受付開始	12時15分～
	開 会	13時00分～13時05分
	研究発表会	13時05分～18時00分
	懇 親 会	18時30分～20時00分
11月17日(土)	被災地視察	8時30分～12時00分
	受付開始	12時30分～14時00分
	総会・廣井賞授与式	13時00分～14時00分
	研究発表会	14時00分～16時20分
	閉 会	16時20分～16時25分

会 場：島原復興アリーナ（島原市平成町 2-1 電話 0957-64-2344）

大会参加費：会員 1,000 円（非会員 3,000 円） 予稿集代：会員 2,000 円（非会員 4,000 円）

懇親会会場：九十九ホテル（島原市秩父が丘浦町丁 3552-53） 懇親会費：5,000 円

11月16日(金)

進行 天野教義(TBS)

【開 会】 13:00 挨拶 阿部勝征 日本災害情報学会会長

【研究発表会】 (発表 9分 質疑 5分)

<発表される方へのお願い>

- ・会場のPCをご使用の方は、遅くとも各セッション開始前までに、電子データを担当者まで提出してください。
- ・研究発表時間は9分です。7分(残り2分)で1鈴、9分(終了)で2鈴を鳴らします。くれぐれも時間厳守をお願いします。

第1会場

午後の部 I 火山災害 13:05～15:11 (座長 木村拓郎)

13:05 「1991年普賢岳噴火災害に於けるマスコミの取材と報道～43人の犠牲者・マスコミからも16人が、その背景は～」

○植田禎子 ((株)テレビ長崎)

13:19 「住民から見た火山噴火の試練～雲仙・普賢岳噴火災害～」

○杉本伸一 (火山都市国際会議島原大会事務局)

13:33 「島原を忘れるな！「住民とマスコミの対話集会」の10年とその後」

○松下英爾 (島原市災害対策課)

13:47 「島原における火山観光に対する商工観光関係者の反応と評価」

- 高橋和雄（長崎大学） 其田智洋（長崎県土木部） 中村聖三（長崎大学）
寺島健太（同）
- 14：01 「長期・大規模噴火災害を受けた島原市安中地区住民の防災意識・復興評価に関する研究」
○寺島健太（長崎大学） 高橋和雄（同） 中村聖三（同）
- 14：15 「トータルステーションと反射プリズムを用いた雲仙普賢岳溶岩ドームの監視体制」
○秦 耕二（国土交通省雲仙復興事務所）
- 14：29 「火山ハザードマップおよび関係資料のデータベース化と公開」
○堀田弥生（独）防災科学技術研究所） 佐藤照子（同）
- 14：43 「火山防災対策のための噴火シナリオ：樽前山の事例」
○宇井忠英（環境防災総合政策研究機構） 岡田 弘（同） 菅野智之（札幌管区
気象台） 札幌管区気象台 樽前山火山防災会議協議会
- 14：57 「火山噴火警戒レベルの導入について」
○横田 崇（気象庁）

休憩 15：11～15：25

午後の部Ⅱ 地震防災 15：25～18：00（座長 田中 淳）

- 15：25 「「緊急地震速報」に関する意識と評価－アンケート調査からの考察－」
○中森広道（日本大学）
- 15：39 「能登半島地震における住民の対応と災害情報の伝達」
○中村 功（東洋大学） 田中 淳（同） 中森広道（日本大学） 福田 充（同）
関谷直也（東洋大学） 森岡千穂（東京大学） 廣井 悠（同） 地引泰人（同）
- 15：53 「被害情報の活用に関する実証実験」
○座間信作（消防庁消防大学校） 遠藤 真（同） 関澤 愛（同） 高梨健一（同）
新井場公德（同） 細川直史（消防庁） 鄭 炳表（独）情報通信研究機構）
胡 哲新（財）消防科学総合センター）
- 16：07 「地震災害情報の信頼度に対する、分散型評価手法」
○金光永煥（早稲田大学） 行木雅子（同） 門倉博之（株）東急総合研究所）
浦野義頼（早稲田大学）
- 16：21 「地震災害時において周辺環境及び個人属性を考慮した避難経路の決定手法」
○行木雅子（早稲田大学） 金光永煥（同） 門倉博之（株）東急総合研究所）
浦野義頼（早稲田大学）
- 16：35 「重機ネットワークの構築による被災者救援システム～いのちの地域ネット～」
○寿乃田正人（イツ・コミュニケーションズ(株)）
- 16：49 「高齢者を援護する地域密着型情報システムの構築研究」
○林 貴行（東京理科大学） 山本 栄（同） 中西美和（同）
- 17：03 「平成19年(2007年)新潟県中越沖地震における住民の対応と防災意識」
○藁谷峻太郎（株）サーベイリサーチセンター） 中島良太（同）
中村 功（東洋大学） 関谷直也（同）
- 17：17 「IT強震計が目指すもの」
○鷹野 澄（東京大学）
- 17：31 「車載360度カメラによる地震被災地のシームレス映像情報」
○天野 篤（アジア航測(株)） 真壁信二（同） 澤 陽之（同）
- 17：45 「緊急地震速報と噴火警戒レベルは本当に住民の退避行動を促進するか？」

- 小山真人（静岡大学） 村越 真（同） 鈴木吉彦（同）
岩田孝仁（静岡県防災局） 吉川肇子（慶応義塾大学）

第2会場

午後の部Ⅰ 災害情報 13:05～15:11（座長 中森広道）

- 13:05 「安全安心情報配信プラットフォームの仕様と運用について～info-magic を用いた地域防災力の向上～」
○朴 元浩（(株)総合防災情報） 鈴木祐二（(株)ニュークリアス）
柏木恭一（すまいるエフエム(株)） 玉木宏忠（パシフィックコンサルタンツ(株)）
- 13:19 「災害時第二通信網の実現に向けて」
○守 茂昭（(財)都市防災研究所） 小出 治（東京大学）
大和田清隆（(財)都市防災研究所） 土肥英生（同） 関口順子（同）
- 13:33 「災害発生直後における水道応急復旧目標設定手法に関する研究」
○平山修久（人と防災未来センター） 伊藤禎彦（京都大学） 河田恵昭（同）
- 13:47 「新潟県中越沖地震における災害対策本部の考察～新潟県柏崎市・刈羽村の事例から～」
○安富 信（読売新聞） 川西 勝（同）
- 14:01 「FM防災ラジオシステムの開発と効果的な運用法に関する実験的研究」
○岡田将治（高知高専） 利根浩文（同） 橘田隆史（(株)ハイドロシステム開発）
宮川朝浩（(株)建設技術研究所） 中島隆信（同）
- 14:15 「プローブカー情報の減災利用」
○秦 康範（東京大学） 小玉乃理子（東京大学） 鈴木猛康（山梨大学）
目黒公郎（東京大学）
- 14:29 「周りに一つでも無傷のRCビルがあったら、原発は大丈夫」
○伯野元彦（攻玉社工科短期大学）
- 14:43 「平成18年7月豪雨時における宮崎市での災害情報の伝達と住民の対応」
○村上啓介（宮崎大学）
- 14:57 「リスク・コミュニケーションを前提とした洪水ハザードマップの開発とその公表効果に関する研究」
○児玉 真（NPO法人 社会技術研究所） 片田敏孝（群馬大学）

休憩 15:11～15:25

午後の部Ⅱ 防災情報システム 15:25～18:00（座長 牛山素行）

- 15:25 「名古屋大学における災害時安否確認システムの導入と運用」
○林 能成（名古屋大学） 梶田将司（同） 太田芳博（同） 若松 進（同）
- 15:39 「災害時における地域内情報共有システムの提案～災害時における円滑な情報共有を目指して～」
○野崎浩平（和歌山大学） 中居健人（同） 鍋谷枝里子（同） 平尾典也（同）
塚田晃司（同）
- 15:53 「携帯電話基地局情報を活用した交通流観測精度の実験的検証」
○八木浩一（災害時交通流監視システム研究会）
- 16:07 「「標準型市町村防災GIS」の実用可能性について－H19能登半島地震での輪島市をケースス

タディとしてー」

○小松幸夫 ((財)消防科学総合センター) 齋藤 泰 (同)

16 : 21 「災害時の道路情報提供の試み 新潟県中越沖地震における取組みと今後の展開」

○鈴木猛康 (山梨大学) 秦 康範 (東京大学) 下羅弘樹 (産業総合技術研究所)

16 : 35 「災害対応を経験した地方自治体を対象とした災害情報共有に関する実態調査」

○鈴木猛康 (山梨大学) 天見正和 ((株)ドーコン)

16 : 49 「携帯電話を用いた災害時情報共有システム」

○青木政勝 (NTT サイバーソリューション研究所) 米村俊一 (同) 武藤伸洋 (同)

17 : 03 「緊急災害情報のメッセージ構成法」

○米倉祥紀 (宇都宮大学) 青木政勝 (NTT サイバーソリューション研究所)

米村俊一 (同) 鎌田一雄 (宇都宮大学)

17 : 17 「クロスメディア連携による災害時情報集約・配信システムの有効性と課題 ー神奈川県藤沢市における実証実験を通じてー」

○臼田裕一郎 ((独)防災科学技術研究所) 長坂俊成 (同) 朴 元浩 (パシフィックコンサルタンツ(株))

17 : 31 「e コミュニティプラットフォームを活用した災害情報の共有手法に関する研究ー静岡県島田市の事例を中心としてー」

長坂俊成 ((独)防災科学技術研究所) ○前川佳奈子 ((株)まちづくり島田)

臼田裕一郎 ((独) 防災科学技術研究所) 増田和順 (同) 河井孝仁 (東海大学)

17 : 45 「自治体災害対応における情報処理方策の高度化～近畿圏自治体防災担当者との検討を通じて～」

○越山健治 (人と防災未来センター) 近藤民代 (同) 河田恵昭 (同)

つ く も

【懇親会】(18 : 30~20 : 00 九十九ホテル)

11月17日(土)

進行 村木正顕 (ニッポン放送)

【被災地視察】(8 : 30~12 : 00 事前申込)

16年前の雲仙普賢岳噴火で多くの犠牲者を出した定点などの被災地や復興現地などを国土交通省九州地方整備局や長崎県、島原市、地元住民の協力を得て視察します。

(コース予定)

島原市役所噴水側(集合場所① 8 : 35 発) → 外港(集合場所② 8 : 50 発) → 火砕流で多くの犠牲者を出した定点^{〔献花〕} → 消防団員詰め所だった農業研修所跡^{〔献花〕} → 安中三角地帯(壊滅的被害を受けたが見事に復興した水無川と水無川導流堤に囲まれた地域) → 旧大野木場小学校・みらい館見学 → 大会会場(島原復興アリーナ) 11 : 40 到着予定

【総 会】 (13 : 00~13 : 30 第1会場)

【廣井賞授与式】(13 : 30~14 : 00 第1会場)

【研究発表会】（発表 9 分 質疑 5 分）

第 1 会場

14：00～16：20 風水害 土砂災害（座長 橋本晴行）

- 14：00 「2006 年鹿児島県北部豪雨災害における被災者の避難行動・災害意識について」
○野末真史（九州大学） 橋本晴行（同） 平原 壮（(株)三井住友銀行）
横田尚俊（山口大学） 松永勝也（九州産業大学）
- 14：14 「洪水氾濫からの避難行動の計画論のあり方に関する一考察～ハリケーン・カトリーナの教訓を踏まえて～」
○岡山和生（(財)河川情報センター）
- 14：28 「2006 年 10 月北日本豪雨災害時の住民による防災情報利用実態」
○國分和香邦（岩手県立大学） 牛山素行（同）
- 14：42 「リアルタイム雨量・水位情報に対するインターネット利用者の認識」
○牛山素行（岩手県立大学） 國分和香邦（同） 吉田亜里紗（同）
- 14：56 「行動指南型洪水ハザードマップの開発とその住民受容に関する研究」
○及川 康（群馬大学） 木村秀治（同） 児玉 真（NPO 法人 社会技術研究所）
片田敏孝（群馬大学）
- 15：10 「平成 19 年台風 9 号出水における洪水予報・避難勧告等実態調査」
○須見徹太郎（東京大学） 松尾一郎（同） 関谷直也（東洋大学）
新堀賢志（NPO 法人 環境防災総合政策研究機構） 飯田圭子（同）
田中 淳（東洋大学） 関谷直也（同）
- 15：24 「「土砂災害に対する全国統一防災訓練」のアンケート結果から～埼玉県飯能市の結果～」
○池田吉男（飯能市市民生活部）
- 15：38 「豪雨時の土砂災害の発生に関する情報収集と活用について」
○柳町年輝（(独)土木研究所） 内田太郎（同） 田村圭司（同）
- 15：52 「分かりやすい土砂災害情報に関する社会実験について」
○田村圭司（(独)土木研究所） 山越隆雄（同） 栗原淳一（長野県土木部）
大谷忠雄（国土交通省四国地方整備局） 麿島直樹（(株)NTTデータ）
佐口 治（アジア航測(株)） 臼杵伸浩（同）
- 16：06 「高齢化・過疎化が進む地域における災害情報と避難行動の問題点に関する一考察」
村上啓介（宮崎大学） ○鐘ヶ江智子（ハイテクシステム(株)）

第 2 会場

14：00～16：20 津波防災 防災対策・危機管理（座長 村上啓介）

- 14：00 「政治 agenda としての防災の位置付け－総理大臣の国会演説を題材に－」
○川西 勝（人と防災未来センター）
- 14：14 「自治体の災害対処能力向上のための教育訓練について」
○水中進一（人と防災未来センター） 近藤伸也（同）
- 14：28 「インドネシア共和国バンダ・アチェおよびジョグジャカルタにおける災害観とそれをふまえた防災支援について」
○阪本真由美（京都大学） 河田恵昭（同）
- 14：42 「図上訓練の対応記録を用いた自治体職員の災害対応における情報処理フローの分析」
○近藤伸也（人と防災未来センター） 水中進一（同）

- 14:56 「津波防災における災害予測情報と住民避難の関係に関する考察」
 ○本間基寛（群馬大学） 片田敏孝（同）
- 15:10 「2006年及び2007年にオホーツク海沿岸地域に出された津波警報の伝達と住民の対応」
 ○中村 功（東洋大学） 田中 淳（同） 中森広道（日本大学） 福田 充（同）
 関谷直也（東洋大学） 森岡千穂（東京大学） 廣井 悠（同） 地引泰人（同）
- 15:24 「児童とその保護者を対象とした津波防災教育の実践から得られた課題」
 ○金井昌信（群馬大学） 片田敏孝（同）
- 15:38 「みやぎサバ・メシコンテスト開催！ー災害時の食をテーマに防災を考えるー」
 ○高橋英彦（(株)エフエム仙台）
- 15:52 「市町村災害対策本部に関する考察ー平成19年(2007年)能登半島地震での輪島市を事例ー」
 ○黒田洋司（(財)消防科学総合センター）
- 16:06 「リスクコミュニケーションと消防団の災害対応活動」
 ○六十里繁（CUC市川研究機構）

【閉会】 16:20 挨拶 高橋和雄 第9回学会大会実行委員長

**島原復興
アリーナ
アクセス**

- ・島原鉄道
「安徳駅」から
徒歩20分、
「島原外港駅」
からタクシーで
8分
- ・島原外港より
口之津方面バスで
「アリーナ入口」
バス停から徒歩
5分

